

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第4回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について

・その他（公開）

3 開催日時

令和7年7月17日（木）午後7時00分から午後8時30分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：天野委員、押見委員、金澤委員、小山委員、佐藤委員、佐野委員、竹田委員、土屋会長、俵木副会長、横田委員

（14名中10名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 小池所長、池田次長（総務・地域振興グループ長兼務）
新保市民生活・福祉グループ長、丸山教育・文化グループ長、風間班長、
水澤主任

8 発言の内容（要旨）

【池田次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【土屋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：金澤委員に依頼

【土屋会長】

協議事項（１）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について、引続きグループ協議を行う。

～グループ協議～

【土屋会長】

まとめに入る。まちづくり班では、G o o g l e のフォームでアンケートの予備調査を行いたいと思っている。項目がだいぶまとまってきたので、次回の地域協議会で皆さんにお知らせする。14人の委員が5人ずつアンケートを集めれば70人分となる。2週間くらいアンケートを取って集約し、遅くとも10月の協議会までには予備調査の結果を皆さんにお知らせする。出てきた意見を踏まえて市のアンケートシステムで調査を実施する。12月の地域協議会だよりで協力依頼をしたいと思う。3月までにアンケート結果をまとめ地域協議会だよりで公開する。場合によっては3月くらいに地域協議会活動報告会を開催して住民から意見をいただきたいと考えている。その際にアンケート調査だけでは不足すると思うので、いきいきサロンや地域の老人会、各町内会、若い方に聞き取り調査ができればいい。若い人に対しては、本調査の時に保育園や小中学校の子どもたちから保護者へ渡してもらえるような方法を取りたいと思っている。自由記述ではいろいろな意見が出てくると思う。意見が多ければまとめに苦労するが、出てきた内容のキーワードを基に分類分けしてくれるICTの技術のテキストマイニングを使って分かりやすく分析していきたい。それを基に今後どのように改善に繋げていくか。場合によっては市の担当者に入ってもらうことも必要である。参考とするためにスマートモビリティの事例等が記載されている本を購入したので、参考にしながら住民に知らせていきたいと思っている。

【金澤委員】

予備調査は、地域の魅力の向上班の委員もそれぞれ5人からアンケートに協力しても

らうよう依頼するということか。

【土屋会長】

そうであるが強制ではない。

【金澤委員】

アンケートの予備調査の対象者に決まりはあるのか。

【土屋会長】

予備調査なので決まりはない。

【横田委員】

項目が答えやすいかどうかなどの実験のために予備調査を行う。

【俵木副会長】

外出手段の困りごとということであるが、公共交通機関が使えなくなったときにどうするかというところに最終的に持っていくためのアンケートということでもいいか。

【土屋会長】

そうである。内容について確認したければ、事務局を通じて現段階のアンケート案は見てもらうことができる。今日の協議内容を基にもう少し改良していく予定である。

【小山委員】

地域の魅力の向上班では、俵木副会長が作成したアンケート案に足りないものを協議した。例えば「大潟区で観光場所、訪れてみたい場所、おすすめの場所はどこですか。」という問いに対して、選択してもらふ候補として鵜の浜温泉、人魚塚、鵜の浜海水浴場、大潟キャンプ場、大潟水と森公園が挙げられている。アンケートとして丸を付けてもらう方式では選択肢が多い方がいいということで協議した。小船津浜、渋柿浜、犀潟の釣りのスポットや鵜の浜人魚館、ジムリーナなどが新たに挙げた。問10まであり、それぞれの問いに対して回答の選択候補を協議した。今日の協議で意見が出なかった部分については、後日、俵木副会長に知らせて次回までにアンケート案をまとめる。アンケートは、潟町3区、上小船津浜、長崎を対象とする。また、小学校で総合学習を行っている5年生にも依頼したいと考えている。

【俵木副会長】

第1段階として3つの町内会と小学生の1つの学年を対象としたアンケートを実施する。その結果に基づいて、各団体や企業などと意見交換することも考えている。次回は

実施時期など最終的な方向までもっていきたい。

【押見委員】

選択候補を協議しているとのことだが、数が多ければ魅力なのか。それとも出てきた意見に対して改めて委員で調査して、どういったところが魅力と覚えてもらえるか精査して魅力とするのか。

【俵木副会長】

両方である。

【押見委員】

バランスを見ながら、数もあり、その中で調べてどういったところがしっかりとした魅力といえるかということか。

【横田委員】

アンケートの結果、ここが魅力だとなったところをその先どうするのか。

【俵木副会長】

ここが魅力だとなったところをどのように情報発信するかである。例えば観光協会のホームページに掲載してもらうなどの考えがあるが次の段階で協議していきたいと思っている。

【横田委員】

3つの町内会にはどのようにしてアンケートを実施するのか。

【俵木副会長】

世帯数がそこまで多くもなく少なすぎない町内会を選定した。

【横田委員】

町内会長に依頼して配布してもらうのか。

【俵木副会長】

そうである。

【土屋会長】

本日はこれで協議を終了する。次回も今日の続きになる。まちづくり班は皆さんに聞いてもらうだけで終わりそうだが、地域の魅力の向上班はどんな感じになるか。次回以降も時間が掛かりそうか。

【俵木副会長】

あと2回くらいは協議が必要である。

【土屋会長】

次回も班ごとの協議となるが、進め方は副会長と相談させていただく。

【池田次長】

次回協議会は、8月21日（木）午後7時から大潟コミュニティプラザ2階大会議室で開催する。

【土屋会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。